

PRESS RELEASE

報道関係各位

2020年2月28日

麻布大学、アサヒビールと連携し『脱・使い捨て』の 浸透に向けて取り組みを開始

麻布大学

麻布大学(学長:浅利昌男、本部:神奈川県相模原市、URL: <https://www.azabu-u.ac.jp/>)は、2020年2月にアサヒビール株式会社と学術指導契約を締結し、「脱・使い捨て」の浸透に向けた産学連携プロジェクトを開始しました。「森のタンブラー」を開発したアサヒビール株式会社と、本学の環境科学科の学生を中心とした大学生の力を結集させ、「使い捨て」という消費行動を見直していくことを目的に、コト(体験)・モノ(商品)の提案に取り組みます。

現在、社会問題となっている海洋プラスチックごみの増加につながる「使い捨てプラスチック」の削減を目的に、アサヒビール株式会社とパナソニック株式会社は、間伐材などの木材から精製したパルプを主原料とした自然由来の紙製材料「高濃度セルロースファイバー成形材料」を活用した、世界初のエコカップ「森のタンブラー」を共同開発しました。一方、本学 生命・環境科学部 環境科学科では、将来起こりうる環境に関する課題を予測・発見・把握し、課題解決を実践する新しい科学領域「未来共生科学」を提案し、その教育プログラムの一つとして、企業等と協働で課題解決に取り組む社会連携型プロジェクト学習(※1)を強化しています。



森のタンブラー

そこで、「エコプロ2019[第21回]～持続可能な社会の実現に向けて～」をきっかけに、産学連携の取り組みをスタートしました。今後、アサヒビール株式会社と協議を重ね、本学の学生が、様々な飲料について「森のタンブラー」の活用を検討し、大学生目線によるリユース促進の企画立案等を行うことで、使い捨てしない消費文化の社会啓発に協働で取り組んでいきます。



(※1) プレスリリース「麻布大学、未来共生科学×SDGs を推進するために環境科学科に新しい教育・研究プログラムを設置」

生命・環境科学部の環境科学科において、新しい科学領域【未来共生科学】を提案し、今年度からフィールドワークをはじめとした新たな教育・研究プログラムを設置しました。

https://www.azabu-u.ac.jp/topics/2019/1111_26037.html

<関連情報>

○環境科学科の特長

生命・環境科学部 環境科学科では、環境問題について高度化・多様化する社会ニーズに応えられる人材育成をめざします。環境を取り巻く諸問題への対応は、近年ますます重要性を増しています。本学科では、生活環境や都市環境のレベルから環境問題を捉え、高度化・多様化する社会からの需要に、科学的なアプローチで応えられる人材を育成します。

https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/life_environmental/environmental/

●本件のお問い合わせ先

<広報部門の連絡先>

- ・ 広報課 担当：栗末、有嶋
- ・ 電話：042-769-2032、メール：koho@azabu-u.ac.jp
- ・ HP <https://www.azabu-u.ac.jp/>